

## 対面式挨拶（平成 29（2017）年 4 月 11 日（火））

1 年生 51 人が新たに加わり、今ここに、心待ちにしていた、北高生全生徒がそろいました。

学校というのは、やはり生徒がいてなんぼですね。春休み、部活動の元気な声はよく耳にしましたが、皆さんの表情までは見えませんでした。昨日、みなさんが登校して、学校がぱっと明るくなったようです。

一番明るくなったのは、先生方です。新学期の準備にみんな忙しくしておられましたが、昨日、みなさんとお話する表情は、とても穏やかで、優しい表情をしておられました。

やはり、出会いは笑顔が一番。人と人との信頼は、笑顔で交わす会話の中からしかしか生まれられないように思います。

対面式は、在校生と新入生の出会いの場でもありますが、1 年生はこれから、新しい仲間づくり、2, 3 年生も新しいクラスづくりが始まります。笑顔でスタートしましょう。

さて、私がこの日を心待ちにしていたのは、もう一つ、理由があります。それは、皆さんが歌う北高の校歌を今日、初めて聞くことができるからです。

ここで、校歌について、少しお話しさせてください。

皆さんは、山崎まさよしというミュージシャンを知っていますか。防府西高校出身の彼が、防府市でコンサートを開いた時の話です。

彼は、コンサートを盛り上げるため、曲の間に、市内の高校の名をコールします。「防府高校」と呼びかけると、防府高校出身の生徒が「山崎」とか、「まさよし」とか、声を上げて答えます。「防府商業」と呼びかけると、同じように「まさよし」と、声が上がります。

そして、「防府西高校」と声をかけたとき、会場からどんな声があがったと思いますか。「先輩～」って声が上がるんです。山崎まさよしに「先輩～」って、呼びかけ、答えることができるのは、後輩である防府西高校の生徒だけなのです。

校歌も同じです。その学校の校歌を歌えるのは、その学校で学んだ生徒だけです。

しかも、皆さんの心にとめておいてほしいのは、ここにいる皆さんは、豊北高校の校歌を歌うことができる最後の世代となるかもしれないということです。

みなさんも、ご存じの通り、本校は、平成30年度からは、県立響高等学校とともに、地域の期待を一身に背負う新しい高校としてもスタートすることとなります。

来年度には、新高校の名のもとに、新入生が入学してきます。

今年度は、新高校開校のための準備がはじまります。中学生が入学したいと思うような、魅力のある高校を作っていきたいと思っています。

しかし、中学生は、どうやって高校を選ぶのでしょうか。1年生は、なぜ、この北高を選んだのですか。近いところにある学校だから、自分の学力にあった学校だったから、理由は様々でしょうが、大きな理由として、先輩の姿、学校の雰囲気も大きな理由だったのではないのでしょうか。

すなわち、新しい学校は、来年からはじまるのではなく今年から始まるということです。新高校の1期生が作るのではなく、今、ここにいる皆さんが作り上げていくということです。

ここに一堂に会したみんなで、中学生が憧れるような学校を作りましょう。中学生が、そして後輩たちが、憧れるような先輩になってください。目指すは、目指される人間になることです。

私たちの出会いを祝い、また、新しい学校づくりの第一歩として、今日は、北高の校歌を声高らかに歌いましょう。